

長期将来構想 SWU-NEXT120

ロードマップ 2026 → 2040

2040年創立120周年に向けた長期将来構想を「SWU-NEXT 120」として定め、学園の『使命』MISSIONと『長期将来構想』のVISIONに基づき改革を推し進めます。

中期方針、単年の事業計画により実現・実装を図ります。

長期将来構想の行動指針

唯一であり無二の教育機関に成長するために行動する

学園の「使命」 MISSION

建学の精神に則り、高き識見、豊かな人間性、確かな専門性を備え、時代の変化に先駆けて社会の課題に向き合い、その解決に貢献する人間をはぐくみ、社会へ送り出します

昭和学園の建学の精神は、「世の光となろう」という言葉に託されています。1920年の学園創設にあたり、創立者・人見圓吉は、第一次世界大戦後の荒廃した社会を、平和で希望に満ちた世界へと変えていくためには、慈愛に満ちた女性の力が必要であると考えました。そして、『開講の詞』において、「来る文化の朝を迎えるために身支度をとり急がねばならぬ」と説きました。

また、創立者は「目覚めたる婦人、正しき婦人、思慮ある力強き婦人」の育成を教育の目標に掲げました。さらに、『校訓三則』では、「清き気品、篤き至誠、高き識見」を備えた人間となることを教えています。この建学の精神は、現在もなお色褪せることなく受け継がれています。昭和学園の使命は、この精神に則り、時代の変化に先駆けながら、不確実な世界に希望の灯をともし人間をはぐくみ、社会へ送り出していくことにあります。

すなわち昭和学園は、学識と教養に裏打ちされた品位、他者を理解し協働する力、複雑な事象の中から課題を発見し解決に結びつける力、そして社会に貢献する志を備えた人間をはぐくみ、「世の光」として社会に送り出します。

2026年7月16日

長期将来構想「SWU-NEXT120」のVISION

2040年、創設120周年に向けて、地域からグローバルまで広く社会と連携しながら教育の先進化を推進し、留学生や社会人を含む多様な学生に開かれた、一人ひとりが可能性を最大限に伸長できる学園を創造します

昭和学園は2020年創立100周年を迎え、新たな100年に向けて歩みを進めています。21世紀以降、知識社会の高度化、グローバル化、ダイバーシティの進展に加え、AIに駆動されたデジタル社会は急速に進化を続けています。将来の見通しが極めて困難な時代を迎えるなか、少子高齢化・人口減少、格差の拡大、環境問題など、社会は深刻かつ複雑な課題に直面しています。こうした課題を解決し、よりよい社会を創造していくためには、時代の先を読み、自ら考え、他者と協働しながら新たな価値を生み出す人材の育成が不可欠です。教育への期待がますます高まる中、私たちは常に未来を見据え、時代の要請に応えた教育を推進していかなければなりません。

そのために私たちは、長期将来構想「SWU-NEXT120」を掲げ、以下の取組を学園一丸となって展開してまいります。

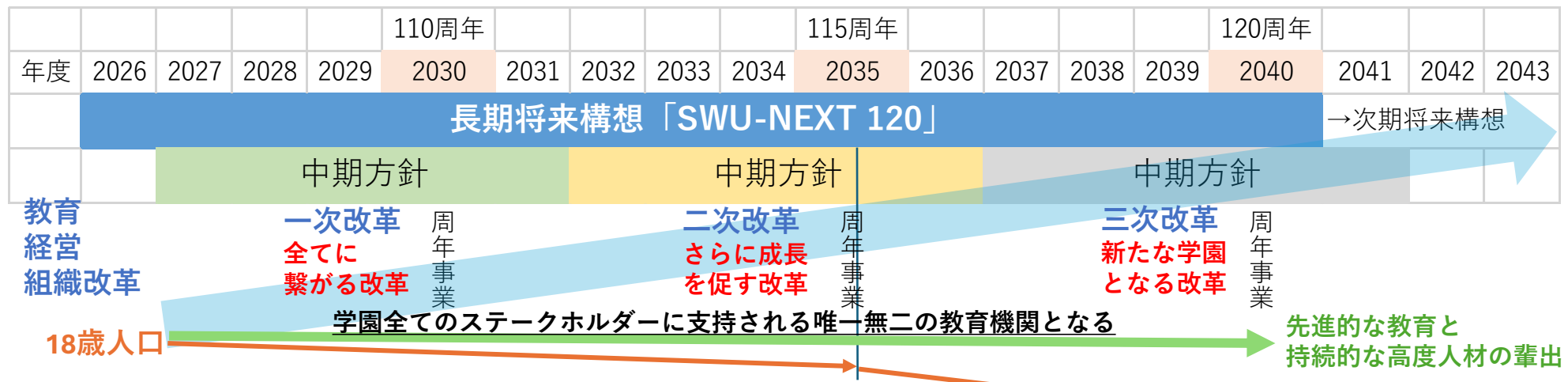
- (1) 高き識見と倫理観を基に行動し、未来社会に貢献するプロフェッショナル人材を系統的に育成する実践的なカリキュラムを、学園全体で開発します。
- (2) 学園で培った専門的力量を基に、未来社会をリードするマネジメント人材の輩出を、学園とそれを支える多様なサポーターが一体となって加速します。
- (3) 教育研究においては、キャリア教育、グローバル教育、文理融合教育、「生きる力」を「活かす力」とする探究的な学びを更に伸長させ、実学主義に立ち社会に資することを目指し、文系・理系の教育研究の充実を図ります。
- (4) 学園はこれらの目的を達成するため、教育・研究・業務の質を飛躍的に向上させるためにデジタル基盤の整備やAIの活用を推進します。

昭和学園で学ぶ園児・児童・生徒・学生は、豊かな教養と必要な知識・技能を身につけ、生涯にわたり学び続ける意欲と確かなキャリアマインドを持って自立・自律し、自らの人生を主体的に設計できる人材へと成長していきます。

私たちは、全てのステークホルダーと連携し、教育・研究、社会貢献を先進的に展開するとともに、開かれた学園として、園児・児童・生徒・学生一人ひとりがその可能性を最大限に伸長できる環境を創造します。

2040年（創設120周年）に向けて、すべての学園関係者が一体感をもって地域社会からグローバル社会に至るまで貢献する「昭和コミュニティ」を形成し、建学の精神である「世の光となろう」を未来へ継承しながら、昭和学園の存在価値をさらに高めていきます。

長期将来構想と中期方針、連動する改革とそのフェーズ



キャンパス整備計画



キャンパスの再デザイン、老朽建物の再構築、先進的機能の導入
環境配慮とグリーンインフラの確保、地域拠点の形成

デジタル技術による変革と価値創造

教育と研究のデジタル化、学生サービスの向上
デジタル技術により新たな価値を生む人材の育成、
強固なサイバーセキュリティ戦略の構築

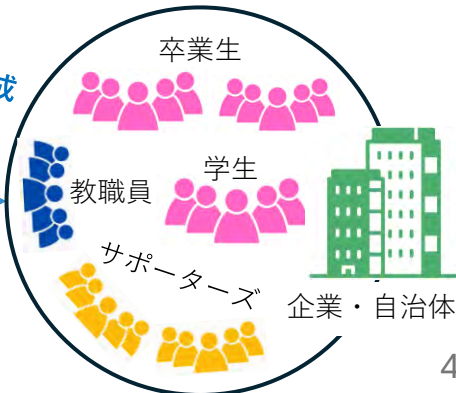
未来のキャンパス（イメージ）



昭和コミュニティの拡大

同窓会や卒業生との連携強化の施策、サポーターズ・クラブ拡大
ステークホルダーによる教育支援の実現
企業・自治体との協働活動の強化

10万人コミュニティの形成



社会が秒速に変化する中では、新たな常識、価値が次々に生まれてきます。そのようなニューノーマルな時代に対応し、持続的に発展する学園経営を実現します。未来を先取りできる組織とそれを推し進める財政基盤を確立します。

	目標	取り組みのキーワード
ガバナンス強化	持続的発展のための経営、組織の確立	経営ビジョンの確立、経営判断の高度化、企画経営力の強化、透明性が高い組織運営、リスクマネジメント強化、ブランドの確立
人材戦略	教職員エンゲージメント調査（肯定回答）85%以上の獲得	エンゲージメントの向上、ウェルビーイング経営、DE&I（ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン）の推進、人材育成に繋がる評価制度、職員組織の高度化と適正な人員配置、新たな職場空間の創造、採用の戦略化、プロアクティブスコア（主体的行動指針）の活用
財政計画	事業活動収支差額比率10%以上の維持	計画的な資産整理、資産運用、資金計画（建て替え、大規模修繕）、外部資金の積極的獲得、収益事業強化、支出の削減、予算コストの見直し、学納金の適正化
施設整備計画	未来キャンパスの実現	キャンパスマスタープランの策定、キャンパスの再デザイン、老朽建物の再構築、先進的機能を導入した再整備、ヘリテージの活用、駅近国道沿いパブリック・インターフェースの設置、教育ウェルネス環境の実現、環境配慮とグリーンインフラの確保、地域拠点の形成、防災拠点としての機能充実
デジタル技術による変革と価値創造	経営と学びのデジタル活用による変革 強固なサイバーセキュリティ戦略の構築	業務・意思決定プロセスの再設計、学修・学生支援プロセスの高度化、学修・業務体験（UX）の向上、ペーパーレス前提運営、学修・業務のハイブリッド運営、AI前提の業務自動化、統合Digital ID（統合ID基盤）、ゼロトラスト型デジタル基盤整備
昭和コミュニティの拡大	10万人コミュニティの形成	同窓会や卒業生との連携強化、ステークホルダーによる教育支援の実現、企業・自治体との協働活動の強化、社会貢献活動による新たな支持者の獲得、寄付金募集強化

目標達成指標（KGI）

人事	教職員エンゲージメント調査 （肯定回答）85%
財務	事業活動収支差額比率 10%
広報	メディア掲載数 1,000

評価指標（KPI）

有給休暇消化率、女性の育児休業取得率、産後パパ育休取得率 研修受講率（教職員SD研修、階層別研修、評価者研修） 女性管理職率
経常収支差額比率、教育活動収支差額比率、人件費比率、運用資産額
プレスリリース数、取材件数

教育・研究・社会実装を基幹とし、国際共修と生涯学習を通じて新たな知と人材を生み出す都市型実学大学として確立します。

	目標	取り組みのキーワード
研究の充実・発展	① 研究推進組織や支援体制の充実、② 個人ならびに共同研究の組織的な支援	研究推進組織の設置、研究所の再編、研究者FD、共同研究の拡充、学内研究費の効果的な運用、学外研究費の獲得、学生RA制度、研究成果の教育への還元、サバティカルの実施、リサーチ・アドミニストレーター（URA）の配置、学内アーカイブの整備
教育の質の向上	① 常に最新の情報や技術を取り入れ授業方法、内容を改善、② 学生自らの知識を更新・拡張できる教育・研究コミュニティの発展	時代に即した建学の精神の具現化、社会ニーズに応える学位プログラム、カリキュラム編成の最適化、副専攻の整備と充実、マイクロクレデンシャルの導入、先進的技術の教育への応用を含めたFDの充実、IRによる効果検証、アカデミックアドバイザーの配置、ルーブリックの計画的導入、学内アーカイブの整備、オンライン授業の効果的配置・少人数授業の最適配置、全学的グローバル教育の保証、学修成果の可視化と質保証、教育成果の可視化、国際共修の充実、社会の状況に合わせたキャリア教育の改変と充実
都市型大学としての社会貢献の充実	① 知の拠点としての活動を推進する組織の再構築、② 社会貢献の大学としての仕組み、プロジェクトなどの充実と発展、③ 成果の効果測定と活動の可視化・公開	持続可能な社会連携推進体制の整備、社会貢献活動の教育活動への体系化、リスクリング、アップスキリング、マイクロクレデンシャル、連携先ネットワークの戦略的拡充、企業&地域連携PBLの拡充、高校生向け探究支援、地域・社会への還元機能強化、研究成果の一般公開、社会連携活動の年次報告、学内アーカイブの整備、成果の可視化と評価
学生・教職員の支援強化	① 能動的に取り組める多様な機会や居場所となる環境の整備、② 心理的安定性の実現のための個々のケースに応じた必要かつ十分な支援	主体的活動を促す機会の拡充、安心して過ごせる居場所の形成、個別性に合ったきめ細かな支援、学生・教職員の相互支援関係の促進、心理的安全性を支える学内環境の充実、包摂性と多様性を基盤とする支援体制の強化

目標達成指標（KGI）

評価指標（KPI）

▶ 次頁に続く

目標達成指標（KGI）

研究

査読付き論文数 30%UP

教育

プロジェクトの
プレスリリース発信件数
30%UP

社会
貢献

学生満足度調査
（肯定回答）85%

学生
支援

入試

入学定員充足率 100%

評価指標（KPI）

外部研究資金獲得額（教員1人当たり）
企業・自治体との共同研究件数
組織型研究プロジェクト数（重点領域）
査読付き論文数＋被引用指標（質指標含む）
研究支援制度利用率（URA支援・サバティカル・RA等）

学修成果到達度（ルーブリック評価・標準化指標）
マイクロクレデンシャル・副専攻履修率
アクティブラーニング・ICT活用授業比率
国際共修・海外連携プログラム参加率
内部質保証サイクルの実施率（IR活用・改善実施率）
高度国際プログラムの導入（件数）

社会連携プロジェクト数（企業・自治体・高校）
リスキリング・公開講座受講者数
PBL（企業・地域連携）実施科目数
社会連携活動の外部評価（満足度・継続率）
社会貢献成果の公開件数（年次報告・データ整備）

学生支援と学修環境の満足度
プロジェクト活動参加数
心理的安全性指標（調査による定量化）

入学者数、入試志願者数、入試合格倍率
オープンキャンパス来場者数

昭和学園の教育環境、資源を最大限に活用し、中高部、初等部のそれぞれが良質かつ進化・深化した教育を提供するとともに持続可能な社会に貢献できる人材を育成する教育機関への成長を図ります。探究的な学び、グローバルな学びを支えるSTEAM教育を進化させるとともに、将来の選択肢の幅を広げる教育と支援を実践します。

	目標	取り組みのキーワード
教育改革	特色ある教育の開発	先駆的な教育内容の開発、教育の質保証の設定、校種ごとに育む資質・能力と学びの連続性、個の伸展を図る教育方法の開発、昭和らしい強みを生かした教育の推進、探究やグローバル分野の学びの継続と洗練化
学習科学の追求と実践	柔軟な学習支援体制の確立	学習科学に基づく探究的な学びの強化、コースカリキュラムの「進化・深化」、自律した学習者を目指す支援、情報活用能力の育成、STEAM教育の推進等（ex. VEXロボティックス）
キャリア教育・進学支援高度化	多様なキャリアへの対応	キャリア教育の充実、個に応じたキャリア支援プログラムの開発、進路相談の充実、放課後学習ルーム等による支援、外部進学を目指した他校との連携
教員育成	附属教育センター（仮）による教育・研究・人材育成の推進	教育実践研究および研修による教員の力量開発　キャリアステージに応じた人材育成の推進、調査研究等による研究の蓄積、教員業務のDX化、事務業務からの解放、自己開発による教員の研究支援、新たな働き方イノベーション
職員参画	職員参画による教育の向上	教育企画の提案、教育分析、行事・イベント企画、教職員組織の運営、広報・募集業務への参画、「共感・親近感」を生むSNSの発信
学園連携強化	連携制度・プログラムの開発	相互理解による発展的な連携、駒沢パークインターナショナルプレスクール（KPIP）・こども園から初等部・中高部までの連動教育プログラムの開発、内部進学制度の再設定

目標達成指標（KGI）

教育

中高部：生徒満足度調査（肯定回答）85％
初等部：保護者満足度調査（肯定回答）85％

進路

希望進路達成率 100％

入試

入学募集人数充足率 100％

評価指標（KPI）

学力定着率、教員指導力指数、教育環境満足度、心理的安全性指数
校内研究・共同研究者の実施回数、専門家など外部連携教育実施回数
海外研修参加者数、団体・個人受賞・表彰件数

キャリア支援満足度、キャリア支援プログラム数、個別面談実施回数
進学先学校による説明会数、内部進学率、合格・進学実績

入学者数、入試志願者数、入試合格倍率、学校説明会来場者数

昭和学園の教育環境、資源を最大限に活用し、幼児期の発達段階に合わせた安全で質の高い教育・保育を提供します。こどもたち一人ひとりの主体的な活動と自由を保障しながら、豊かな感性と学びの基礎となる非認知能力を育み、初等部・中高部へと連動する未来を担う人材の健やかな土台づくりを実践します。

	目標	取り組みのキーワード
教育・保育	こども自身の内面的な成長の支援 日々の活動を通じた学びの深化	非認知能力（スキル）の育成、体験を通じた感性の磨き、他者との関りによる自我の目覚、主体的な活動と自由の保障、多様性とグローバルな視点の芽生え
環境・教員体制	安心して過ごし、質の高い教育・保育の提供	安心・安全な教育・保育環境の整備、教員（保育者）の専門性と研修の充実
学園・家庭・地域との連携	様々なつながりを通じてこどもの成長を支援	初等部・中高部へのなめらかな縦の接続、こども園・KPIPとの横の接続、学園や地域との連携、保護者との協働・子育て支援

目標達成指標（KGI）

- 教育 保護者満足度調査（肯定回答）85%
- 入試 入園募集人数充足率 100%

評価指標（KPI）

- 教育・保育環境満足度
共同研究等の実施回数、専門家など外部連携教育実施回数
- 入園者数、入園志願者数、入園選考倍率（こども園）
園説明会来場者数